

絵本であそぼう！

「おはなし屋えっちゃん」のお・は・な・し

新緑がきらきらと輝きはじめた4月25日(土)、総合福祉センターは子どもたちの笑い声に包まれました。

「だる・まさ・んが…ドテ！」

「おはなし屋えっちゃん」が体を大きく左右に動かし、絵本を読み進めていくと、子どもたちも満面の笑みで自然に体を動かして始めます。だるまさんと一緒に子どもたちがドテ！お父さん・お母さんも一緒にドテ！これは、体をほぐす絵本です。

「りんごがコロコロリンゴ」

りんごがいろんな動物の上を「ころころ」ころがっていく絵本。リズムのつて飛んだり跳ねたり…これは、音を楽しむ絵本。

えっちゃんも子どもたちの掛け合いを聞いていて、絵本が勝手に動き出して、子どもたちと一緒に遊んでいるようです。



えっちゃんインタビュー

Q1. 絵本を選ぶコツはありますか？

お話しにじっくり耳を傾けるいわゆる「読み聞かせ」だけでなく、「絵本で遊ぶ」とを提案しているのは、えっちゃんこと武知悦子さん。絵本をとおした親と子のコミュニケーションを楽しむ方法を発信するため、主に幼児〜大学生までを対象に「おはなし会」を開催しています。

この日は、7冊の絵本と、指人形、指遊び、おもちゃ遊び、パネルシアターが次つぎに繰り広げられること約1時間30分。子どもたちは最後まで楽しんでいました。

武知悦子さん PROFILE
京都女子大学発達教育学部児童学科卒業。元幼稚園教諭、児童館厚生員、幼児教室講師、児童書専門店など、子どもに関する職場に勤務。とにかく子どもと遊ぶことが大好き！パネルシアター、エプロンシアターと出会い、おはなしの世界に大人も子どもも巻き込んでいく「おはなし会」を展開しています。

といった感覚で気楽に楽しんでみてください。

私の場合は、異年齢・大勢が対象なので、オーバーアクションで引きつけるといった技術が必要になってきます。ですが、膝の上でお父さんやお母さんの声を聞きながら、同じ方向を向いて絵本を読むという時間は、楽しさを共有できる至福のひとつになるはずです。

Q3. 子どもとの向き合い方のポイントはなんですか？

親御さんが楽しむことが大切です。本を選ぶのも、親御さんが好きなものを選んでみてください。親御さんが楽しんでいると、子どもも自然と楽しくなってくるはず。先ほども言いましたが、教育するという姿勢ではなく、共感するということが大切です。

Q4. 子どもと向き合うときに難しいなと思うことは？

そうですね。特に「おはなし会」を始めるときに子どもの遊びを中断してまで絵本に注目させているものか悩みますね。できるだけ自然発生的に聞いてもらえるようにしています。そして、聞いてくれてありがたうという気持ちをいつも持つようにはしています。

Q5. お父さん・お母さんへメッセージをお願いします。

子どもの頃に、どれだけ沢山の人が出会えるかが大切だと思います。だから、どんな世界を広げてあげてください。そして固定観念を持たずに子ども主体の遊びを子どもにしたいようにさせてあげてください。心を解放してあげること、想像力が育まれます。何より、物ごとを決めつけないことが大切。上手いかないこともありますが、たまには「まっいいか」という気持ちの余裕が大切です。

「おはなし屋えっちゃん」
おはなし会スケジュール

【と き】毎月第4土曜日
午前10時～11時30分

6/27(土)	総合福祉センター
7/25(土)	吉田公民館
8/22(土)	きさいや広場
9/26(土)	きさいや広場
10/24(土)	和霊公園
11/28(土)	三間保健センター
12/26(土)	やすらぎの里
1/23(土)	きさいや広場
2/27(土)	きさいや広場
3/26(土)	きさいや広場

市内の読み聞かせ会情報

■夢のたまご

小学校の朝の読書時間や幼稚園、老人施設などで読み聞かせ会を開催しています。

■こ・あ・ら

【と き】毎週土曜日
午後2時～ 中央図書館

■おやゆびひめの会

【と き】第2・4土曜日
午後2時～ 吉田町図書館

※絵本の「読み聞かせ会」を行っているグループなどがありません。情報をお待ちしています。

ファースト
ブックを
贈呈します



5月1日から、ファーストブック（生まれて初めて触れる絵本）の贈呈を始めました。

これは、5月1日以降に出生届出のあった市内に住所を有する新生児と転入届出のあった0歳児に贈られるもので、これまで市民課で贈呈していた出生記念品に替えてお渡しします。5冊の絵本の中から1冊選んでください。



A4サイズのトートバッグに入れてお渡しします。小さな子どもが持つにもいいように、持ち手が短いものを選びました。「本のある生活」という意味の「LIFE WITH THE BOOK」の文字が入っています。

担当者より

子育ての楽しい時間を親と子どもが本をとおして共有して欲しいと思い、ファーストブックを始めました。小さいときからお父さんやお母さんの声で読み聞かせて、子どもが安心して成長できる環境を作ってもらえるといいです。0～2歳児は自己肯定感を築くためのとても大切な時期です。その時期に、たくさんのお愛情を注いで楽しく過ごしてください。

幼稚園に関する窓口の変更

これまで、幼稚園に関する窓口は、市教育委員会教育総務課に設置していましたが、4月1日から、福祉課子育て支援係に変更になりました。

こんな絵本があります

● やさしくん
tupera tupera / 作・絵



にんじんやじゃがいもなど、子どもの大好きなやさしいがユーモアたっぷりにグラフィカルなイラストで描かれる。楽しいイラストで次のページをめくるのが楽しい。やさしいが次つぎに現れる絵本。

● くつついた
三浦太郎 / 作・絵



ページをめくると、動物たちがくつついた。最後には赤ちゃんにお母さんもお父さんもくつついて、家族みんなで幸せいっぱい。日常生活の中でもくつついて遊びたいくなります。

● たべものだーれ？
よねづゆつすけ / 作・絵



右にも、左にも、同じたべものがあります。でも、ページをめくると...さあ、だれがかくれてくるのかな？ シンプルなしかけのなかに驚きがいっぱい。親子で「あてっこ遊び」をしながら楽しめるしかけ絵本。

● ぴょん
まつおか たつひで / 作・絵



ページを縦に開くと「ぴょん」。カエル、イヌ、ウサギ、トビウオ...色とりどりの動物が赤い跳び上りがあります。赤い跳び上りを「ぴょん」と持ち上げたくなりそう。親子のふれあひ遊びにつながります。

● はらぺこあおむし
ポードブック版
エリック・カール / 作・絵



小さいんぼうのあおむしは、毎日もりもりと何でも食べつつ...。数や曜日の認識を折り込み、穴あきのしかけをこらした斬新な絵本。